

滋賀県内の感染管理認定看護師に関する現状

1. 感染管理認定看護師の活動年数

年数	5年未満	6～10年	11～15年
人数	6人	3人	9人

2. 病院での活動状況

専従.....8人
専任.....10人

3. 感染管理認定看護師としての処遇

特別手当あり.....9人
特別手当なし.....9人

4. 感染管理認定看護師として、現在困っていること

CNICの後任者がなかなか見つからず、一人では業務負担が多いので困っている。
兼務(他の部署、看護師長等管理業務等)のため、活動時間の確保や多重業務のため負担が大きい。
感染管理の対応が間違っていないかを相談する場がコロナの影響で無くなったので困っている。今までは話し合える場もあったが、話し合える場所を失ったので不安がある。

専従業務が長期間になると、いつか病棟などの現場へ復帰することに不安がある。
感染管理業務の内容が、1年以上にわたってコロナ対策のことばかりなので他の業務に手が回らないこと。等

5. 看護協会活動への要望や意見

協会とのつながりが大切なので、滋賀県看護協会での情報交換会は、クラスター対応等について大変参考になった。
全国の遠方ではなく、滋賀県内で認定看護師に対するサポートの場が欲しいです。
滋賀県の感染対策の「質」の保障のために、「感染対策のこれだけはやっておきましょう」というように各施設への速やかな情報発信をしてもらえないか希望します。
滋賀県の医師会で活動する滋賀県感染制御ネットワークとの活動連携や協力体制づくりを行って欲しいです。
滋賀県看護協会をはじめ、各保健所、滋賀県のネットワーク、有志の会と様々な場所でICNは活動しているのでより効率的に負担が偏らない運営を検討してもらいたいと思います。等

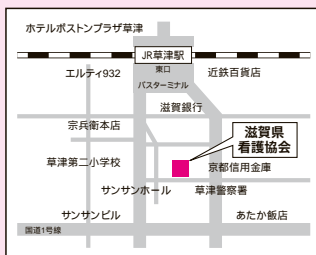
ナースレーク特集号の発行にあたって

新型コロナウイルスの国内での蔓延が1年以上経過し、医療分野だけでなく「Life」全般においてコロナウイルスの影響を考えなかった時間はなかったのではないのでしょうか。滋賀県内でも様々な医療機関を中心に幅広い分野でたくさんの看護師の皆様が奮闘しております。こんな時だからこそできることは何なのか？看護師の専門職としての知識と経験を分野という垣根を越えて「Life」に活かしていくための支えになることが看護の一面ではないかと思えます。雨が降った後には虹がかかるように、必ずこの新型コロナウイルスとの戦いも落ち着く日が来るはず。いつの日か皆様が「あの頃は…あんなこともあったね」と笑顔でこの経験を語れる日が来ることを信じて、今はこの冊子が少しでもエールになることを願っています。



公益社団法人 滋賀県看護協会

〒525-0032 滋賀県草津市大路二丁目11番51号
TEL.077-564-6468(代表) / FAX.077-562-8998
E-mail: sigakan@gold.ocn.ne.jp
ホームページ: http://shiga-kango.jp/
《詳細は、ホームページから閲覧して下さい。》



三方良し精神で
看護の力で
滋賀を元気に!



県内各地あらゆる場で看護職が力を合わせて頑張りました

新型コロナウイルス感染症対応特集号に寄せて

2020年は、ナイチンゲール生誕200年・看護の日制定30周年等の記念年であり、人々の健康向上に貢献するために行動するNursing Nowキャンペーン「看護の力で健康な社会を!」の世界的な活動強化年でもありました。そのような中、滋賀県では、2020年3月5日に、初めての新型コロナウイルス感染症患者が発生して以来、その予防対策や対応に県内のあらゆる看護現場の看護職が最前線で全力奮闘してきました。

さまざまな施設で奮闘してきた感染管理認定看護師や看護管理者のこの1年間の活動を「特集号」として企画いたしました。皆様と活動を共有し、「三方良し精神で 看護の力で滋賀を元気に!」できるよう頑張っていきたいと思います!

滋賀県看護協会会長 廣原 恵子

